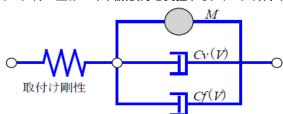
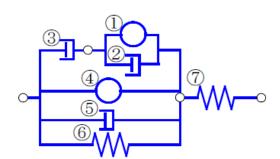
## 免震部材の数値出力で出力可能な出力項目

<b>名震部材の数値出力で出力</b> 可能な出力項目					粘性/オイルダンパー				オイルダンパー		粘性ダンパー			
	出力項目			免震 支承材	免震用履歴ダンパー	ダッシュポット 単体/回転 方向ダッシュ ポット	Voigt型 /Maxwell 型	ダッシュポット と質量	質量単体	BDSD型 /BDSV型	オイレス工業型 /オイレス工業2 型/免制震 ディバイスV型	バイスR型※2	かれ、システムマシ ナリ-BDM型 ※3	オルス工業摩 擦型※4
免震部材	Tせん断	TTX	一 応力 一 変形	0	0									
			- 塑性率		0									
			- 最大/最小時刻	0	0									
			- ひび割れ時刻 - 降伏時刻		0									
		-TY	一応力	0	0									
			– 変形 – 塑性率	0	0									
			- 銀大/最小時刻	0	0									
			– ひび割れ時刻		0									
		- 変形∧゙クトル	┗ 降伏時刻 ┳ 変形ベクトル	0	0									
		一支ルバ ハル	T角度	Ö	Ö									
	+1		エネルギー	0	0									
	-軸			0										
			- 塑性率	ŏ										
			- 累積塑性変形倍率	0										
			- 最大/最小時刻 - 降伏時刻	00										
			<b>-</b> エネルギー	Ö										
	-取付け部						O%1 O%1	0%1 0%1	0%1 0%1	0%1 0%1	O%1 O%1	0%1 0%1	00	0%1 0%1
			- 最大/最小時刻				0%1	0%1	0%1	0%1	0%1	0%1	Ö	0%1
	25.00		<b>エネルギー</b>				O%1	0%1	0%1	O%1	O%1	0%1	0	O%1
	- 質量	Τ <sup>主</sup>	一 応力 上加速度					0	0			0	0	
			-最大/最小時刻					ŏ	Ö			Ö	Ö	
		/ <del></del>	L エネルギー c ナ					0	0			0	00	
		┗付加	一 応力 上 加速度										0	
			-最大/最小時刻										0	
	- ダ ッシュポ ット	÷	しェネルギー 一応力			0	0	0		0	0	0	0	0
	- > >> >1	ΤŤ	一速度			ŏ	ŏ	ŏ		Ö	ŏ	Ö	Ö	0
			-変形			0	0	0		0	0		0	0
			- 最大/最小時刻 - エネルギー			0	0	0		0	0	0	0	00
		- 付加1	一応力										Ö	0
			- 速度 - 最大/最小時刻										0	00
			- 取入/取小時刻 - エネルギー										0	0
		┗付加2	一応力									0	Ö	Ö
			- 速度 - 最大/最小時刻		<u> </u>					<u> </u>		0	0	00
			<b>-</b> エネルギー		<del> </del>					1		Ö	Ö	Ö
	<b>− スプ リング</b>	T <sup>主</sup>	一応力				0			0%1	0%1			0%1
			- 変形 - 最大/最小時刻				0			0%1 0%1	O%1 O%1			0%1 0%1
		1	<b>-</b> エネルギー				Ö			0%1	0%1			0%1
		└付加	一 応力 一 変形										0	0%1 0%1
			- 変形 - 最大/最小時刻										0	0%1
			<b>-</b> エネルギー										Ö	O%1
	└全体	-	── 応力 - 変形		<u> </u>	0	0	0		0	0	0	0	0
			-最大/最小時刻		<del> </del>	ŏ	Ö	ŏ		Ö	Ö	Ö	Ö	0
			Lエネルギー			0	0	0		0	0	0	0	0

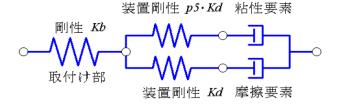
- ※1 剛性を入力した場合のみ出力可能。
- ※2 ダッシュポットー主はCv(V)(減衰力を負担するダッシュポット)、ダッシュポットー付加2はCf(V)(摩擦力を負担するダッシュポット)の結果を出力している。



※3 取付け部は⑦軸バネ装置 – 線形バネ要素、質量ー主は①回転錘部 – 線形慣性質量要素、質量ー付加は④回転錘部以外 – 線形慣性質量要素、ダッシュポットー主は②回転錘部 – 線形粘性減衰要素、ダッシュポットー付加1は③リリーフ機構 – 非線形粘性減衰要素、ダッシュポットー付加2は⑤回転錘部以外 – 線形粘性減衰要素、スプリングーMaxwellは⑥作動摩擦要素 – 非線形バネ要素の結果を出力している。



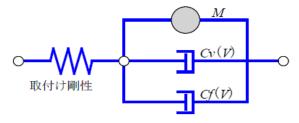
※4 ダッシュポットー主は粘性要素、ダッシュポットー付加1は摩擦要素(Maxwell型の場合)、ダッシュポットー付加2は摩擦要素(ダッシュポット単体の場合)、スプリングー主は装置剛性p5・kd、 スプリングー付加は装置剛性kdの結果を出力している。



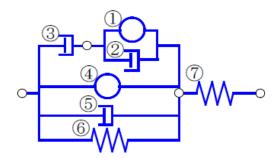
制振ブレースの数値出力で出力可能な出力項目 (その1)

					粘性/オイルダンパー				オイルダンハ゜ー		粘性ダンバー			
出力項目			鋼材/摩擦 ダンパ-	ダッシュポット 単体/回転 方向ダッシュ ポット	Voigt型 /Maxwell 型	ダッシュポット と質量	質量単体	BDSD型 /BDSV型	オイレス工業型 /オイレス工業2 型/免制震 ディバイスV型	免制震ディ バイスR型 ※3	カヤバ・システムマシ ナリ-BDM型 ※4	擦型 ※5		
7 V-X T	取付け部		一	0%1 0%1		O%1 O%1	0%1 0%1	0%1 0%1	0%1 0%1	0%1 0%1	O%1 O%1	0%1 0%1	0%1 0%1	
			- 发形 - 最大/最小時刻	0%1		0%1	0%1	0%1	0%1	0%1	0%1	0%1	0%1	
			して はん はん はん はん はん しょう はん しょう はん しょう	0%1		0%1 0%1	O%1	0%1	0%1	O%1	O%1	0%1 0%1	0%1	
<u>_</u> 1	質量	一主	一応力	<u> </u>		<u> </u>	0	0	<b>3</b> /1(2	<u> </u>	0	0	U//	
			- 加速度				0	0			0	0		
			-最大/最小時刻				0	0			0	0		
		/	L エネルギー エネ				0	0			0	0		
		└付加	一 応力 上 加速度									0		
			- 最大/最小時刻									ŏ		
			エネルギー									ŏ		
-5	ダ゛ッシュポ゜ット	一主	一応力		0	0	0		0	0	0	ŏ	0	
			- 速度		0	0	0		0	0	0	0	0	
			- 変形		0	0	0		0	0		0	0	
			- 最大/最小時刻		O O	0	0		Ŏ	0	00	0	0	
		- 付加1	Lエネルギー 一応力		0	0	0		0	0	0	0	0	
		LIJNHI	一速度									ŏ	ŏ	
			- 最大/最小時刻									Ö	ŏ	
			Lエネルギー									0	0	
		┗付加2	一応力								0	0	0	
			- 速度								0	0	0	
			- 最大/最小時刻 - エネルギー								0	0	0	
L <sub>7</sub>	スプリング	<b>−</b> Voigt	一応力	0		0			O%1	O%1		0	0%1	
'	,,,,,	Voigt	- 変形	ŏ		ŏ			0%1	0 <u>%1</u>			0%1	
			- 塑性率	0										
			- 累積塑性変形倍率	0										
			- 最大/最小時刻	0		0			0%1	O%1			0%1	
			- ひび割れ時刻 - 降伏時刻	0										
			- 降1人時刻 - 終局時刻	0										
			- バッパリルデックリ - エネルキ゛ -	ŏ		0			O%1	O%1			0%1	
			- 疲労損傷度	0%2					<b>3</b> //(2	G/X.=			U///-	
		– Maxwell	一応力									0		
			- 変形									0		
		1	- 最大/最小時刻									0		
		- 付加1	L <sub>エネルト</sub> ゙- 一応力									0	0%1	
		Liami	一										0%1	
		1	- 最大/最小時刻										0%1	
		1	┗ エネルギ −										0%1	
		└付加2	一応力											
			- 変形											
			- 最大/最小時刻											
	全体			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	土件		一変形	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			- 最大/最小時刻	Ö	ŏ	ŏ	Ö	0	ŏ	Ö	00	ŏ	Ö	
			L エネルギー	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	ŏ	Ö	

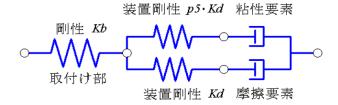
- ※1 剛性を入力した場合のみ出力可能。
- ※2 疲労損傷評価の計算をする設定とした場合のみ出力可能。
- ※2 疲労損傷評価の計算をする設定とした場合のみロガリ能。 ※3 ダッシュポットー主はCv(V)(減衰力を負担するダッシュポット)、ダッシュポットー付加2はCf(V)(摩擦力を負担するダッシュポット)の結果を出力している。



※4 取付け部は⑦軸バネ装置 - 線形バネ要素、質量ー主は①回転錘部 - 線形慣性質量要素、質量ー付加は④回転錘部以外 - 線形慣性質量要素、ダッシュポットー主は②回転錘部 - 線形粘性減衰要素、ダッシュポットー付加1は③リリーフ機構 - 非線形粘性減衰要素、ダッシュポットー付加2は⑤回転錘部以外 - 線形粘性減衰要素、スプリングーMaxwellは⑥作動摩擦要素 - 非線形バネ要素の結果を出力している。

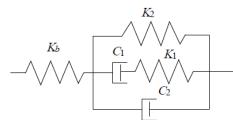


※5 ダッシュポットー主は粘性要素、ダッシュポットー付加1は摩擦要素(Maxwell型の場合)、ダッシュポットー付加2は摩擦要素(ダッシュポット単体の場合)、スプリングー主は装置剛性p5・kd、 スプリングー付加は装置剛性kdの結果を出力している。

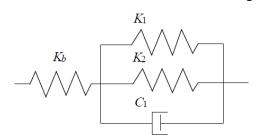


制振ブレースの	数値出力で	出力可能な出	力項目(その2)	粘弾性ダンパー※10								
		出力項目		横浜ゴム型	住友理工型 ※6	住友」「A工 業1型 /2型/3型 ※7	住友」。4工業4型※8	住友理工2 型	スリーエム ハイブ リッド 111型	JFEシビル型 ※9		
制振プレース 一取	双付け部 -		一 応力 上変形	O%1 O%1	0%1 0%1	O%1 O%1	O%1 O%1	O%1 O%1	O%1 O%1	O%1 O%1		
			- 最大/最小時刻	0%1	0%1	0%1	0%1	0%1	0%1	0%1		
			ニュネルキ゛ー	O%1	O%1	O%1	O%1	O%1	O%1	O%1		
	量 -	Τ <sup>主</sup>	一応力 上加速度									
			- 加速度 - 最大/最小時刻									
			L エネルギー									
		┗付加	一応力 上加速度									
			- 加速度 - 最大/最小時刻									
			エネルギー									
- \$	´ ッシュポット  -	Τ <sup>主</sup>	<b>一</b>	0	0	0	0	0	0			
			– 速度 – 変形	0	0	0	0	0	0			
			- 最大/最小時刻	0	0	0	0	0	0			
			L エネルギー	0	0	0	0	0	0			
		- 付加1	一 応力 上 速度		0					0		
			- 还反 - 最大/最小時刻		0					0		
			エネルギー		Ö					Ö		
		└付加2	<b>一</b>				0					
			- 速度 - 最大/最小時刻				0					
			エネルギー				ŏ					
_ X	プリング -	<b>⊤</b> Voigt	一応力	0	0	0	0	0	0	0		
			– 変形 – 塑性率	0	0	0	0	0	0	0		
			- 累積塑性変形倍率									
			-最大/最小時刻	0	0	0	0	0	0	0		
			- ひび割れ時刻									
			- 降伏時刻 - 終局時刻									
			- エネルキ゛-	0	0	0	0	0	0	0		
		l	- 疲労損傷度									
		-Maxwell	一 応力 上 変形		0					0		
			-最大/最小時刻		ŏ					ŏ		
			L <sub>エネルキ</sub> ゛ –		Ō					0		
		-付加1	一応力			0	0			0		
			- 変形 - 最大/最小時刻			0	0			0		
			L <sub>エネルキ</sub> ゛ –			Ö	Ö			0		
		└付加2	<b>一</b> 応力							0		
			- 変形 - 最大/最小時刻							0		
			- 取大/ 取小時刻 - エネルギ-							0		
L <sub>全</sub>	≧体 -		<del></del> 応力	0	0	0	0	0	0	0		
			- 変形	0	0	0	0	0	0	0		
			- 最大/最小時刻 - エネルギー	0	0	0	0	0	0	0		
			ーエイルヤー	U		U		U	U			

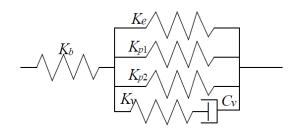
- ※1 剛性を入力した場合のみ出力可能。
- ※6 ダッシュポット一主がC2、ダッシュポットー付加1がC1、スプリングーVoigtがK2、スプリングーMaxwellがK1の要素の結果を出力している。



※7 ダッシュポットー主がC1(粘性要素)、スプリングーVoigtがK1(弾塑性要素)、スプリングー付加1がK2(弾性要素)の結果を出力している。



※8 ダ ッシュポットー主がC1(粘性要素)、ダ ッシュポットー付加2が付加応力用粘性要素、スプ リング ーVoigtがK1(弾塑性要素)、スプ リング ー付加1がK2(弾性要素)の結果を出力している。
 ※9 ダ ッシュポットー付加1がCv(第5要素)、スプ リング ーVoigtがKe(第1要素)、スプ リング ーMaxwellがKv(第4要素)、スプ リング ー付加1がKp1(第2要素)、スプ リング ー付加2がKp2(第3要素)の結果を出力している。



※10 増分解析結果を出力する場合は、スプリングーVoigtのみ出力可能。